

令和4年度
札幌市民交流プラザ
事業報告書

公益財団法人 札幌市芸術文化財団

目 次

I	管理業務の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	管理業務に係る収支決算・・・・・・・・・・・・	17
III	管理に関する協定書 第33条に規定する自主事業の実施状況・・	18

I 管理業務の実施状況

1 統括管理業務

▽ 管理運営に係る基本方針の策定

「文化芸術活動及び生涯学習の振興並びに人々の来訪及び交流の促進を図り、もって市民の創造性を育むとともに、市民生活の向上を実現するほか、地域のにぎわいの創出に寄与する」というプラザの設置目的に基づき、以下の6つの基本方針を策定した。これを基に、当財団だからこそ実現可能な主催事業や当財団が管理運営を行う他施設との連携事業などを通じて、市民の多様なニーズを捉えたオリジナリティに溢れた施設運営に取り組んだ。

- ① 良質かつ多彩な文化芸術の提供と北海道発の文化芸術の創造
- ② 文化芸術の水準を高める拠点としての役割
- ③ 今後の文化芸術を担い、支える人々の育成
- ④ すべての人々が文化芸術を享受できる開かれた施設
- ⑤ あらゆる人々がつながり、交流するにぎわいの空間
- ⑥ 安全・安心・快適な施設環境の提供

▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績

▼ 札幌市の公の施設であることに鑑み、公平性を重視した運営を行うため以下の方針を策定し、実施した。

- ① 公開抽選による施設申込
利用月 13 か月前の一斉受付による申込受付
- ② 随時予約による施設申込
一斉受付終了後、空き施設を先着順で受付
- ③ 優先受付による施設申込
長期の準備が必要かつ大規模な事業に限り、24 か月前の受付

▼ 特定団体の専有を防止し、多くの利用者への平等な利用を実現するため、連続利用を原則7日以内に制限している。

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

▼ 「札幌市環境基本計画」に順じ、環境保護、コストの縮減、職員への環境意識の徹底に努めた。

具体的には、まず照明に関して、設備員との打合せを密にし施設貸出時間外の点灯を必要最小限に抑え、全館の照明スケジュールも定期的に見直すことで徹底的に節電に努めた。毎日の貸室チェックにて、利用者退出後の空調スイッチの切り忘れを見つけることも節電に繋がっている。

また、空調（換気を含む）については、貸出時間外の施設も温湿度の一定程

度の維持や感染症対策のため、稼働は必要ではあるものの、設定を間欠運転（稼働・停止を一定時間毎に繰り返す）とすることで、省エネルギーとの両立を図った。

- ▼ 札幌市環境マネジメントシステムに則り、エネルギー等の使用実績を集計し、省エネルギーの推進及び温室効果ガスの排出抑制に取り組んだ。

▽ 管理運営組織の確立（責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成）

- ▼ 市民交流プラザ事業部長（館長）を施設の統括責任者として配置している。
また、各課で行う事業特性や業務量を考慮し、適切な人員配置を行い、安定的に運営を行った。

- ▼ 基礎的・専門的知識の向上のため、以下の職員研修を実施した。

4月・5月 新採用研修
 コンプライアンス研修
8月・9月 管理職マネジメント研修
10月 コンプライアンス研修
12月 管理職マネジメント研修
1月・2月 情報セキュリティポリシー研修
2月・3月 アンコンシャスバイアス研修
3月 普通応急手当講習

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

- ▼ 財団管理の各施設をネットワークで結び、共用のグループウェアソフトを活用することで、迅速かつ効率的な情報共有・意思疎通を図っている。

また、財団共用の財務・会計システム利用により、予算執行状況の把握・各種伝票の起票を効率的に行っている。

- ▼ 事業部内では職員だけではなく、清掃・警備・設備・舞台技術等の常駐委託業者とも上記グループウェアソフトを活用し、情報共有・連絡伝達を行っている。

情報共有の媒体を一元化することで、利用者・来館者への迅速かつ正確な対応に繋げている。

- ▼ 各常駐委託業者と日常的に綿密な連絡体制を敷くことで、業務中に発生した問題等は速やかに報告を受け、対処を行った。

また、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策においても綿密に連携し、徹底した感染防止体制を敷くことで、安全・安心に利用できる施設となるよう努めた。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理（業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認）

- ▼ 業務仕様書に基づき、安全な施設運営を行うために必要な専門性を有する人

材の確保、及び適正な業務履行の徹底を要請した。

委託者側、受託者側双方に責任者を置き、常に業務の実施状況を共有したほか、受託者より提出を受けた業務完了報告書による履行確認を行った。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

▼ 市民交流プラザ施設運営協議会の開催

開催回	協議・報告内容
第1回 (R4.5)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の施設の利用状況について ・施設利用に伴うアンケートの集計結果について
第2回 (R4.9)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況について(令和4年4月～7月) ・施設利用に伴うアンケートの集計結果について <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Zoomによるオンライン開催</p>
第3回 (R5.1)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況について(令和4年4月～12月) ・施設利用に伴うアンケートの集計結果について ・避難訓練コンサートの実施報告について <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Zoomによるオンライン開催</p>
第4回 (R5.3)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況について(令和4年4月～令和5年2月) ・施設利用に伴うアンケートの集計結果について ・一時滞在施設の対応について <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Zoomによるオンライン開催</p>
<p><協議会メンバー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元自治会： 中央地区町内会連合会総務部長 ・利用者： 音楽事務所代表 ・有識者： 大学教授 ・行政： 札幌市市民文化局文化部長 札幌市教育委員会 図書・情報館長 ・指定管理者： 市民交流プラザ館長 事業推進担当部長 	

▽ 財務（資金管理、現金の適正管理）

▼ 資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとに区分した経理を実施しており、公認会計士による外部会計監査を導入している。

▼ 現金等の取り扱いについては、現金取扱要綱を策定し、分任出納員として任

命された職員による厳正な管理を行い、財団の内部監査や市による業務検査などで定期的な確認作業を行った。

- ▼ 現預金の入出金については、複数の職員による相互確認を実施し、不適切な処理が行われないようチェックした。

▽ 要望・苦情対応

- ▼ 要望・苦情は発生次第速やかに対応を検討し、担当する部署及び館長とも共有したうえで、対応を行った。

また、利用者・来館者から寄せられた要望・苦情については、関係する常駐委託業者とも情報共有を行い、利用サービスの向上に繋げた。

- ▼ ホームページにお問い合わせフォームを設け、問い合わせや要望・苦情が寄せられた際には、図書・情報館やその他の関係部署を交え対応を検討し、電子メール等で迅速な回答を行うとともに、今後の利用サービスの向上に繋げた。
- ▼ 市の関わりが必要と考えられる要望・苦情については迅速に市に報告した。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施）

- ▼ 指定管理業務に関する下記の記録・帳簿等については適切に整備保管した。
 - ・ 管理業務に関する諸規定
 - ・ 文書管理簿
 - ・ 各年度の事業計画及び事業報告書
 - ・ 収支予算・決算に関する帳簿
 - ・ 金銭出納に関する帳簿
 - ・ 物品の受払いに関する帳簿
 - ・ 各種業務に関する記録書類及び札幌市が必要と認める書類
- ▼ セルフモニタリングについては、来館者、利用者、主催事業の参加者の満足度を測定するため、アンケート調査を実施した。また、半年ごとに業務検査や財務検査を行い、業務に関する自己チェックを実施した。
- ▼ 札幌市への事業報告や事業評価等については、協定の定めに応じて提出をした。

2 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上

▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上（事故の有無などの安全衛生面を含む）

- ▼ 適正な内容で 36 協定を締結したほか、雇用環境の維持向上のため、関係法令に基づき財団諸規則等の見直しを行い、労働基準監督署に届け出た。
- ▼ 給与の額や支給方法等の雇用条件については、財団の例規として、職員、契約職員、パート職員の各々について就業規則を定めているほか、職員については別途給与規程を制定し明示している。これらを変更する場合には職員の過半数を代表する者の意見を聴取し、行政官庁への届出を行っている。また、賃金台帳など法定帳簿等も整備している。

- ▼ 就業規則を含む例規集は、グループウェアソフトにより、常に各職員が閲覧可能な状態としている。
- ▼ 毎月の給与の計算や社会保険・労働保険関係の各種手続き等は、財団の総務部署を通じて社会保険労務士事務所に委託しており、労働関係法令改正への対応についても、社会保険労務士と相談して行っている。
- ▼ 当財団衛生委員会要綱に準じ衛生委員会を開催し、衛生管理者、産業医とともに労働災害の防止、職員の健康維持、職場環境の向上に努めている。
- ▼ 産業医の選任のほか、顧問弁護士も導入しており、これらの専門家による、心身の健康面、雇用、仕事以外の事柄も含めた個別相談に応じる体制を採っている。
- ▼ 労働環境を向上させるため、年5日以上の子次有給休暇の取得徹底や、業務の見直しなどによる時間外勤務の削減に努めた。
- ▼ 新型コロナウイルス感染症対策の一環として、引き続き、職員の接触機会削減のための在宅勤務を可能とした。

3 施設・設備等の維持管理業務

- ▽ 総括的事項（利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入）
 - ▼ 拾得物及び遺失物は、さっぽろ創世スクエア管理組合と情報共有を図り、利用者からの問い合わせに対して即時に対応できるよう努めている。なお、一定の保管期間が経過し、引き取りのない拾得物や、貴重品については最寄りの警察署または交番に引き渡し、適切な処理に努めている。
 - ▼ 施設の環境の改善と安全性向上のため、定期的な巡回や点検を行っている。特に、施設内の共用スペースにおいては多数の来館者が往来するため、防犯カメラを設置・運用することで、非常時に的確・迅速に対応ができるよう備えている。
 - ▼ 緊急時の連絡体制を構築するとともに、指定管理の仕様書に記載されている内容の保険には、継続して加入している。
- ▽ 施設・設備等の維持管理（清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等）
 - ▼ プラザ内の各施設（劇場、センター、諸貸室）において、計画的な清掃・警備を行い、美化・安全確保に努めた。また、備付備品や貸出備品についても、定期的に点検を行い、常に利用者が最良の状態で使用できるよう維持・管理を行った。
 - また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、貸出施設や備品、利用者用ロッカー、エレベーター内操作盤等の消毒・換気は、前年度から引き続き一層配慮して対応を行った。
 - ▼ 施設設備については、日常点検をはじめ、不具合が発生した際は早期発見・対応が可能なように設備保守の常駐委託事業者と密に連携を図った。

- ▼ 施設への搬出入用駐車場については、運用マニュアルを作成して管理運営を行い、警備員との連絡を密にして駐車場の利用者が安全、かつ円滑に駐車できるように努めた。なお、共用部（緑化等）はさっぽろ創世スクエアの管理組合が適切に管理している。

▽ 防災

- ▼ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していた劇場公演・来場者を伴う防災訓練「避難訓練コンサート」を10月に約3年ぶりに開催し、全職員で地震・火災発生時の劇場からの避難誘導等の方法を再確認した。また、翌3月には職員のみで訓練を行い、防火戸の開閉についての模擬体験等を行った。
- ▼ 市民交流プラザは大地震等発災時に帰宅困難者を受け入れる一時滞在施設として開設する旨、札幌市と協定を結んでいるため、その運営マニュアルを作成、3月の防災訓練にて職員に周知を図った。

4 事業の計画・実施業務

▽ 札幌文化芸術劇場に関する事業

▼ 創造事業

hitaruを「創造の場」として地元で活躍する様々な芸術団体との連携のもと札幌発の実演芸術公演を展開し、市民に質の高い文化芸術に触れる機会を提供した。地元のオペラ団体、教育機関、実演芸術家などの協力を得てhitaruを舞台としたオペラを創造・発信するhitaruオペラプロジェクトの第1回として、モーツァルト作曲「フィガロの結婚」を上演した。また、出演者からスタッフまで、全メンバー札幌在住の人材を起用した新規創造事業として約1年間の制作期間により創り上げた「Creative Art Mix」をクリエイティブスタジオを会場に開催したほか、令和5年度に開催する第1回hitaruバレエプロジェクト「くるみ割り人形」キャストオーディションを実施した。

○hitaru オペラプロジェクト モーツァルト「フィガロの結婚」

《関連事業》

- ・合唱オーディション
- ・hitaruのひとつとき 声優朗読劇 VORLESEN～フィガロの結婚～
- ・「フィガロの結婚」カバーキャストによるスペシャルコンサート～アソコウ先生のお話とともに～

○Creative Art Mix～RE: BORN～

《関連事業》

- ・Creative Art Mix～RE: BORN～ダンスワークショップ

○hitaru バレエプロジェクト「くるみ割り人形」オーディション

▼ 鑑賞事業

多面舞台と最新の舞台機構を生かし、世界水準のバレエ、ダンスなど本格的な

舞台芸術による「鑑賞の場」を多彩な内容で市民に提供した。また、親しみやすい内容の公演を低廉な入場料で開催し、幅広い層の市民に実演芸術の魅力を伝えた。

- 山海塾「降りくるもののなかで一とぼり」
(※出演者の体調不良のため中止)
《関連事業》
 - ・山海塾 舞踏手 蟬丸によるワークショップ
(※出演者の体調不良のため中止)
- 北海道新聞創刊 80 周年・UHB 北海道文化放送開局 50 周年 Daiwa House® PRESENTS 熊川哲也 Kバレエカンパニー Autumn Tour 2022「クレオパトラ」
- hitaru のひととき
 - ・「魅惑のミュージカルナイト～姿月あさと 35th Anniversary Festival～」
 - ・「尾高忠明 presents 偉大なる英国の巨匠たち」
 - ・「hitaru オペラプロジェクト モーツァルト「フィガロの結婚」関連事業 声優朗読劇 VORLESEN～フィガロの結婚～」
- 文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業 2022 東京バレエ団＜HOPE JAPAN 2022＞
- スターダンサーズ・バレエ団公演 バレエ「ドラゴンクエスト」

▼共催事業の誘致

これまで札幌での開催が少なかった魅力ある大規模公演等の誘致に向けた取り組みを進めた。

- ①第三回さっぽろ落語まつり
- ②舞台「千と千尋の神隠し」
- ③ミュージカル「ミス・サイゴン」
- ④NORAH JONES JAPAN TOUR 2022
- ⑤2022 HTB ジルベスターコンサート

▼普及・育成事業

先進の舞台芸術を広く市民に紹介するとともに、舞台芸術活動の将来を担う世代の育成を目的に、多彩な芸術文化の提供と、教育的価値の高い事業を展開した。

- 青少年向けバレエ鑑賞事業
＜配信事業＞青少年向けバレエ鑑賞事業
- クリエイティブスタジオ活用事業
 - ・シネマシリーズ4 映画へと導く映画（大九朋子）

・村川拓也「ムーンライト」

《関連事業》

・中高生のための「ムーンライト」レクチャー

・第1回 hitaru 劇評入門～舞台公演を言葉に残す～村川拓也「ムーンライト」

・第2回 hitaru 劇評入門～舞台公演を言葉に残す～山海塾「降りくるもの
なかで一とぼり」（山海塾公演中止に伴い中止）

・劇団た組「ドードーが落下する」

○ 札幌大谷大学・札幌文化芸術劇場 hitaru 連携事業

・アートプログラム 2022 第1回 ミュージカル「ミス・サイゴン」見どころ・
聴きどころ

・アートプログラム 2022 第2回オペラ「フィガロの結婚」見どころ・聴きど
ころ

▼ 交流事業

札幌文化芸術劇場 hitaru、クリエイティブスタジオ、札幌文化芸術交流セン
ターSCARTS、札幌市図書・情報館など、さまざまなジャンルの事業展開が可能
な市民交流プラザの特性を活かし、多様な市民に参加・交流の場を提供して、
多くの市民が文化芸術に触れることで施設のにぎわい創出につながる事業を
実施した。

○PLAZA FESTIVAL 2022

・ミュージカル「ミス・サイゴン」

・PLAZA 映像祭

・札幌芸術の森クラフトキャラバンワークショップ 街、森、クラフト

・あらためまして、SCARTS です

・つくり手から学ぶ北海道のワイン

・アートコミュニケーター「ひらく」と巡る常設アート鑑賞ツアー

▼ 舞台技術向上に向けた取組

全道の創造型劇場の中核として、舞台技術者の技術・技能の向上や知識・経験
の共有を図るため、道内外の舞台技術者、または劇場職員を対象とした舞台技
術セミナーを開催した。

①技術セミナーin hitaru 2022

②全国劇場・音楽堂等職員 舞台技術研修会

（兼第3回 hitaru 舞台技術セミナー）

また、高度な舞台機構や音響・照明設備を活用できる本劇場の舞台技術スタッ
フが他の劇場、音楽堂等及び実演芸術団体等と連携・協力し、地元の文化芸術
の水準を高めるための取組として、舞台監督等の技術協力支援を行った。

- ①第 62 回子ども舞踊祭
会場：札幌市教育文化会館 大ホール
- ②高橋竜太ダンスワークショップ DAY inSapporo
会場：札幌市教育文化会館 小ホール
- ③Dream of DancersⅦ 未来への夢
会場：札幌市教育文化会館 大ホール
- ④より子・バレエ・スタジオ第 15 回発表会
会場：札幌市生涯学習センター ちえりあホール
- ⑤カンマーフィルハーモニー札幌名寄特別演奏会
会場：名寄市民文化ホール EN-RAY ホール
- ⑥Farewell 2022 ピーターと狼
会場：東一丁目劇場（旧北海道四季劇場）
- ⑦第 5 回帯広市民バレエ
会場：帯広市民文化ホール 大ホール
- ⑧第 63 回子ども舞踊祭
会場：札幌市民ホール

▽ 札幌文化芸術交流センターに関する事業

▼ 誰もが気軽に文化芸術に触れられる場や機会を創出し、都心部のにぎわいを生み出す事業を展開した。

また、地元アーティストや文化団体、専門機関との連携による特徴的な事業により、地域の魅力を高めつつ、SCARTS の認知度向上に繋げた。

【SCARTS クリエイションプロジェクト（リサーチ）】

【SCARTS メディアアーツシリーズ】

①++A&T -SCARTS ART&TECHNOLOGY Project-（プラプラット）

++A&T04 CoSTEP×SCARTS×札幌の高校生たち

「地球をかたづける」ワークショップ成果展

<関連プログラム>

・クロージングトーク

②Side Effects 2022-2024 「IEIE, Reflected: Phase1」

展示：IEIE クロニクル

<関連プログラム>

・「IEIE, Reflected: Phase1」公開実験：サウンドビーム

③SCARTS×SIAF ラボ 冬の展覧会 2023 「雪にまつわるエトセトラ」

<関連プログラム>

・ギャラリートour

④SCARTS×CoSTEP アート&サイエンスワークショップ「漂う環境」

<関連プログラム>

- ・ライブパフォーマンス

【SCARTS 連携事業】

- ①Marché de GRENIER(マルシェ・ドゥ・グルニエ)
- ②彫美連続講座 2022
- ③大学連携コンサート
 - ・大学連携コンサート 北海道教育大学岩見沢校
クラシックとジャズの出会い—フランス編
 - ・大学連携コンサート 札幌大谷大学
ヴァイオリンとヴィオラの響き～時代と楽器を超える調べ～
- ④第 51 回 SAPPORO ぶんだんきょうフェスティバル
- ⑤さっぽろ天神山アートスタジオ国際公募 AIR プログラム
2022-2023 展覧会「雪のうえにのびる道／The roads stretch on the snow」

<関連プログラム>

- ・ギャラリートーク&パフォーマンス
- ⑥さっぽろアートステージ 2022 ART STREET「キッズアートフェス」
<関連プログラム>
 - ・祭太郎と一緒に大きなオブジェを作ろう！
 - ・カラフルな雪をふらせよう！はじめてのデジタルアートワーク
ショップ
 - ・見えない風の絵を描き、それを映像にしてみよう！
 - ・暖かい炎をイメージしたアニメーションを作ろう！
 - ・自分の顔を 3D 彫刻にしてみよう！
 - ⑦NoMaps2022
 - ⑧第 4 回アートボランティアウィーク 2022@SCARTS
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
 - ⑨版画工房会館 30 周年関連事業 版画—いま・これから

【SCARTS パブリックリレーションズ】

- ①あらためまして、SCARTS です ドキュメント展 2018-2021
- ②PLAZA FESTIVAL 2022 札幌芸術の森クラフトキャラバンワーク
ショップ「街、森、クラフト」
- ③PLAZA FESTIVAL 2022「MORIHICO. Marché de GRE-
NIER(マルシェ・ドゥ・グルニエ)×プラザマルシェ」
- ④西 2 丁目地下歩道映像制作プロジェクト
- ⑤SCARTS アニュアルレポート

▼ 文化芸術活動支援事業・文化芸術に関する調査研究事業

札幌の文化芸術活動のさらなる発展を目指し、様々な支援事業を展開した。市民や地元アーティストが抱える悩みの解決を手助けする対面相談サービスや、より専門性の高い内容や具体的な内容を掘り下げ、学びの場となるラーニングプログラム、意欲的で発展性の高い企画を公募により実施する公募企画事業、札幌の文化芸術振興に寄与する優れた活動を支援する助成金交付事業、アートと人々をつなぐボランティアな活動を支援するアートコミュニケーション事業など、幅広い層を対象に直接的・間接的に支援を行うなど、札幌における文化芸術活動の活性化につなげた。

また、文化芸術活動を発展させるうえで欠かせない、国や他都市の動向や先進的な文化芸術活動などに関する基礎的な調査研究を行ったほか、SCARTSの一年間の活動をまとめたアニュアルレポートを発行した。

【SCARTS サポート事業】

①SCARTS 相談サービス

②SCARTS ラーニングプログラム

- ・西2丁目地下歩道映像制作プロジェクト
小田香作品《Underground》 スクリーン上映&トーク
- ・あらためまして、SCARTS です オープンミーティング
- ・さっぽろ天神山アートスタジオ 北海道 AIR ミーティング
「アーティストの滞在制作の現場 AIR in Hokkaido」

③公募企画事業

- ・SCARTS 企画公募 2023
- ・あたらしい民話 presents さっぽろの民話
〈関連プログラム〉
 - ・さっぽろのあたらしい民話をつくろうワークショップ SCARTS 編
 - ・さっぽろの民話 読み語りライブ
- ・North PRINT—北海道の現代版画—
〈関連プログラム〉
 - ・ワークショップ「銅版画メゾチント体験」
 - ・ワークショップ「シルクスクリーンで巾着プリント」

④札幌文化芸術交流センター SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業

〈令和4年度助成金交付〉

特別助成事業2件、一般助成事業12件 総額約470万円

- ・令和4年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS
文化芸術振興助成金交付事業 活動報告会

〈令和5年度内定〉

- 応募件数 115 件
- 特別助成事業 1 件、一般助成事業 20 件、総額 609 万円内定
- ・令和 5 年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS
文化芸術振興助成金交付事業 募集説明会

⑤アートコミュニケーション事業

- ・講座 全 14 回
- ・実践活動、鑑賞レポート
- ・人とアートをつなぐ SCARTS アートコミュニケーター 「ひらく」を
ふりかえる展
- 〈関連プログラム〉
 - ・鑑賞ワークショップ「コトバで紡ぐ音楽」
 - ・ひらく映画部の「ゆるゆる映画トーク会」
 - ・鑑賞ワークショップ「みる・かんがえる・はなす・きく」
 - ・ふりかえりトーク「ひらくさんいらっしやい」

⑥文化芸術に関する調査研究事業

- ・調査研究
- ・SCARTS アニュアルレポート

5 施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		R3年度実績	R4年度計画	R4年度実績
劇場	件数(件)	234		261
	人数(人)	195,294	—	297,019
	稼働率(%)	79.9%	80%	87.7%
クリエイティブスタジオ	件数(件)	230		302
	人数(人)	17,301	—	24,491
	稼働率(%)	71.2%	75%	86.0%
練習室等	件数(件)	3,220		4,280
	人数(人)	22,086	—	34,649
	稼働率(%)	59.7%	60%	73.5%
センター	件数(件)	1,899		2,436
	人数(人)	51,005	—	124,940
	稼働率(%)	63.3%	75%	76.9%

▽ 不承認 0 件、取消し 62 件、減免 2,212 件、還付 114 件

▽ 利用促進の取組

- ▼ 一斉受付実施の告知

ホームページにて、次回の一斉受付の告知を毎月行った。

- ▼ 練習室・控室の利用促進を図るため、昨年度に引き続きPRチラシを作成し、市内公共施設や創世スクエア管理組合等に配布を依頼し、PRに努めた。
- ▼ 利用者からのご要望の改善
利用者アンケートに基づき、利用者からのご要望のあった点を共有するとともに、改善に向けて検討を行った。
- ▼ 貸館施設内インターネット環境の強化
かねてより要望の多かった貸館施設内でのWi-Fi利用について、環境の再整備を行い利用可能な施設を増やし、利用者利便の向上を図った。
- ▼ 利用者登録制度の導入
定例的、継続的な諸室利用者がよりスムーズな申請手続きを行えるよう、利用者登録制度を導入し、登録者は申請から施設利用料の支払までを同時に行えるようにした。

6 付随業務

▽ 広報業務

▼ 広報

①事業広報との連携強化

公演・イベントの周知、チケット販売促進や、施設入館者数の目標達成を目指し、情報誌等の印刷物やホームページ、SNS等の多様な媒体を活用して、札幌市民交流プラザの機能や事業の広報を積極的に行った。

(1) 地下鉄パンフレット広告

主要駅の地下鉄フリーパンフレットコーナーにて、イベントスケジュール誌「PLAS」を配架した。

(2) 協賛広告枠の活用

札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー企業の広告協賛枠等を活用し、地下鉄大通駅コンコース及び地下街オーロラタウン、丘珠空港、市内大型スーパーマーケット、路線バス車内等において動画の放映やチラシの配架、ポスター広告の掲示等を行った。

②広報印刷物の制作

(1) 情報誌「WAVE TIMES」

札幌市民交流プラザの情報誌「WAVE TIMES」を4回（5月、8月、11月、2月）発行し、区役所等の市内公共施設や関係団体へ送付したほか、公演・イベント会場等でも広く配布した。

(2) イベントスケジュール冊子「PLAS」

札幌市民交流プラザを構成する3施設の公演・イベントを掲載するスケジュール冊子「PLAS」を6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月の各月20日）発行し、区役所等の市内公共施設や関係団体へ配布した。

(3) 「創成おさんぽ MAP」

近隣地域のにぎわいを醸成するため、札幌市民交流プラザメンバーズ会員向け特典提供店を紹介する地図形式の冊子を作成し、メンバーズ（DM会員）に送付したほか、協力店舗や札幌市民交流プラザ館内各所で配架した。また、利用促進のため、秋にはSNSを活用した「#おさんぽ MAP キャンペーン」を実施した。

(4) アクセス動画

市民交流プラザの認知度、並びにアクセスについての情報を広く周知するため、15秒の広告動画を制作した。制作した動画はさっぽろ地下街の「AUMIRU ビジョン」「HILOSHI ビジョン」の2カ所で上映した。

③ホームページ

ホームページ・SNSの活用

ホームページを通じて、主催事業や貸館公演などのイベント情報を随時発信し、広く札幌市民交流プラザの周知を図るとともに、英語ページも作成し、外国人向けに情報発信を行った。ウェブアクセシビリティへの対応にも留意し、JISX8341-3:2016の適合レベルAA準拠を維持した。

また、Twitter、Facebook、InstagramといったSNSも活用し、即時性のある情報を発信した。

- ・公式ホームページアクセス数

- 令和4年度:1,476,048件

- (参考) 令和3年度:1,468,110件

- ・札幌市民交流プラザメンバーズホームページアクセス数

- 令和4年度:159,290件

- (参考) 令和3年度:271,146件

▼ 利用促進

①施設利用に関するチラシの発行

札幌文化芸術劇場 hitaru 及び札幌文化芸術交流センター SCARTS 諸室の貸館利用促進に向け、地元興行主との情報交換を密にするほか、「ご存じですか？プラザの貸室使い方いろいろ」を配布して会議や練習での利用を促した。

②会員制度

(1) 会員制度の募集及び運営

主催公演のチケット先行発売や公演情報の提供などを特典とする会員制度「札幌市民交流プラザメンバーズ」を運営。令和5年3月31日までにWEB会員42,690人、DM会員691人、計43,381人の会員を集めた。

(参考) 令和3年度:WEB会員38,674人、DM会員734人、計39,408人

(2) 会員特典

- ・メールマガジン配信（WEB 会員向け、原則 1 ヶ月に 2 回）
- ・ダイレクトメール送付（DM 会員向け、原則奇数月）
- ・hitaru 主催公演のチケット先行発売
- ・プラザ内カフェ・レストランでの優待
- ・近隣のホテル・飲食店等での各種優待
- ・避難訓練コンサートの企画

③協賛制度の募集及び運営

札幌文化芸術劇場 hitaru の主催共催事業の充実を目的とする「hitaru オフィシャルスポンサー」制度を運営。

令和 3 年度のスポンサーとして、法人 106 社、個人 53 人、計 159 件（8,860 万円及び広告枠）の協賛を獲得した。

▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等

▼ 市内企業等の活用

施設の管理運営に必要な再委託業務について、概ね札幌市内に事業所を有する企業に発注した。

▼ 福祉施策への配慮

職員用ブルゾン製作におけるロゴ印刷作業を、近隣の福祉施設に発注した。また、設置している自動販売機のうち 1 台を、札幌市内の社会福祉団体に依頼した。

7 利用者へのアンケート、利用者等からの主な意見、要望等

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	設を利用する主催者および主催事業の来場者へアンケート用紙を配布するほか、館内にアンケート台を設置。施設・設備の使い勝手の良さや、職員対応等に対する意見・要望の把握に努めた。
結果概要	貸館利用者・主催事業の来場者の施設に対する総合的な満足度は 93.8%、職員対応の満足度は 97.5%であった（「満足」「おおむね満足」「普通」合計）。 また、貸館利用者の 98.7%が「また利用したい」と回答した。 全体回答数：5,353 件
利用者からの意見・要望とその対応	・清潔でいいですね。 ・館内職員の方がとても丁寧に対応して下さい、とても利用しやすかったです。

	<ul style="list-style-type: none">・予約申し込みのネット利用希望します→令和5年度のシステム改修を目標として検討中・申し込み時にお支払いができると良いです→利用者登録制度を導入し、登録者は申し込みと同時に支払可能とした。
--	--

II 管理業務に係る収支決算

▽ 収支

(千円)

項目	R4年度計画	R4年度決算	差(決算-計画)
収入	1,376,955	1,464,155	87,200
指定管理業務収入	1,331,428	1,414,571	83,143
指定管理費	1,031,145	1,047,075	15,930
利用料金	197,600	233,197	35,597
その他	102,683	134,299	31,616
自主事業収入	45,527	49,584	4,057
支出	1,386,955	1,389,720	2,765
指定管理業務支出	1,307,329	1,314,593	7,264
自主事業支出	79,626	75,127	▲4,499
収入-支出	▲10,000	74,435	84,435
利益還元			0
法人税等			0
純利益	▲10,000	74,435	84,435

▽ 説明

- ▼ 指定管理費について、今期は令和4年1月～令和4年10月の施設キャンセル、令和4年4月～令和5年3月までの光熱費高騰分の補填を受けたことにより、増収となった。
- ▼ 収入については、新型コロナウイルスの影響により中止となった事業があったものの、収容人数制限が解除されたこともあり、公演の実施件数が増え、当初計画より貸室稼働率が上昇したため、利用料金収入が大幅に増加した。
- ▼ 支出については、光熱水費の高騰に伴い支出が大幅に増加したが、事業打合せにオンライン会議を用いることで旅費を削減、イベント周知においてもコロナの状況を鑑み範囲を最小限としたことで、印刷物等の費用削減に努めた。
- ▼ 上記の費用削減に努めつつ、オンラインでの練習・会議目的での貸室利用の増加に伴う、全貸室でのネット接続を可能とするため、昨年度実施した4階貸室への専用Wi-Fi整備に加え、3階貸室への整備も実施し、より快適で充実した施設となるよう環境整備を図った。

Ⅲ 管理に関する協定書 第33条に規定する自主事業の実施状況

1 飲食・物販事業

▽ カフェ、レストラン事業

施設の賑わいの創出とともに寛ぎの空間を提供することを目的に、カフェ「MORIHICO. 藝術劇場」及びレストラン「DAFNE」を営業。

レストラン「DAFNE」にて、お節販売の継続や、創世スクエアオフィス棟の企業へのフライヤーポスティングなど、前年度からの取り組みを継続したほか、4月から、近隣のオフィスワーカーが休憩時間に45分間で楽しめるランチメニュー「プラド45」の提供を開始するなど、ニーズに寄り添ったメニュー開発にも取り組んだ。

また、施設と各委託事業者の月例会議（CS会議）に代表者1名が出席することとし、劇場・クリエイティブスタジオの公演情報（来場見込み等）を事前に共有することで、カフェ・レストランともに無駄のない営業に務めた。